



わかくさ抄

DX時代の住民と役所の関係

IT 関連技術の急速な進化で、あらゆる分野が大きく変化しようとしている。DXは、自治体のオペレーションを左右する時代になってきた。政府は、自治体DXとして、3つの取組、行政DX:地域DX:教育DXを進めており、自治体がこうした新時代に対応することが求められている。DXとは、デジタルを使って、変革を求める考えであり、デジタルを使えば OK と考える人とは、とらえ方が違う。DXの推進に欠かせないことは、「意識改革」、「テクノロジー」、「人材育成」の3つの課題と言われている。

DX時代に相応しい「住民と役所の関係」を見直す時期であり、住民役のDX社会を目指す「6つのポイント」に纏めてみた。

①「人の心(マインド)」

DXとは、役所でやり過ぎると、人がついてこなくなる。住民だけでは地域を変革できない。拒絶反応を示す住民も出てくる。DXを成功させる最大の秘訣は、「人の心を動かすこと」と心得る。

- 社会での役割など、共感できる場所を見つける。
- 生き甲斐・仲間づくり・生涯学習・介護予防など、人間関係は温もりを感じる場が大切。
- 少子高齢社会において、共助社会の仕組み作りの動きに共感し、類は類を呼ぶ。
- 人の集りは、情報交換・共有・喜び、繋がる社会を共創する。
- 情報の共有が不可欠であり、インターネットが社会基盤になっている。
- モチベーションを上げる工夫、環境を変えて新鮮な気持ちでメンネリを打破する。

②「マインドの変化」

しがらみや閉塞感を打破する勇気をもって、住民や職員のマインドも変える。業務の変革について現場の理解が得られなければ、DXは失敗する。ITに強いただけでは成功しない。住民や職員等、全ての人の気持ちが必要であり、情報や知識を共有して、多彩なノウハウとアイデアを交流することに、DXの本質があると理解する。

③「住民の共感」

DXとは、行政から住民が、事業の目指すべき目的・内容について理解し、具体的な施策までをイメージし、「事業への道筋」を想定する。どういう情報やサービスが必要なのか、何をどこまでやるのか等を具体的にイメージし、住民の共感を得る努力をする。

④「人材の育成」

IT基盤やツールが形成され、地域で活動する人材の育成も重要である。DXマインドを持ったリーダーの役割が重要になる。問題を自ら発見して分析・提案していく能動的人材をどのように育成するのか、地域が空気を作り、人のマインドの変化を促す。

⑤ 官民の連携の在り方

AIはデータがないと何もできない。データの活用は、データを使う人とデータを提供する人の協力が必要になり、共に汗を流して学びあう関係が大切であり、データを作る負担も、簡素化される。Discover(目利き)、Design(企画)、Develop(つくり)、Drive(活用)の4Dの活動を協働し、事業を作って人を集めるには、しがらみ、閉塞感を打破して、リーダーが活躍できる環境に気配りする。

⑥「地域DX」

- 地域の未来像: Well-growing(成長), Well-being(心身健康), Quality of Life(生き甲斐)
- DXリスキング: 地域活性化のため、地域社会をどうするのか、どう作るか、一人ひとりが考える。
- 住民とのコミュニケーション: オンラインアプリ、デジタルで完結ではなく、アナログへとつなぐ。

地域を活性化させ、住民満足度を高め、コミュニケーションを交えて、市民の興味・関心に合わせ地域の課題解決につなげる。役所が市民目線で最適な施策をゴールまで進める。地域DXの本質が見えてくる。



e-AAC 事務局長
多田 祐朗

トピックス!

1. 奈良県の「令和5年度青少年インターネットリテラシー向上事業」に e-AAC の専門講師を派遣します。

県下の小中高校や保護者向けの講座を募集します。
お問合せは、e-AAC の事務所まで(0742-36-8520)

2. 奈良県より、地域デジタル化に向けたスマホ講習委託事業を受託し、過疎地域2カ所で各4回実施しました。

- 明日香村(会場:明日香村中央公民館)
実施日:1/6、16、23、2/6
- 御杖村(会場:御杖村山村開発センター)
実施日:1/31、2/14、24、28

3. 中学生向け講座を実施しました。

講座名:ハード・ソフトでコンピューターを学ぶ
実施日:7/30
会場:登美ヶ丘公民館
協賛:登美ヶ丘北中学校区地域教育協議会

4. 曾爾村より求職者向けの2日間研修会を受注しました。

講座名: パソコン研修会
実施日:1/26、27
会場:曾爾村役場

5. 生駒市東地区民生委員児童委員協議会の協賛により、2つのコースを実施しました。

- ① 生駒市立東小学校 パソコンクラブ
実施日:6/17、7/1、11/11
- ② 生駒市地域交流教室 プログラミング教室
実施日:2/4、2/25

6. みんなのページ

5 ページ目をご覧ください。

「第1部会」からの報告 自治体情報化支援

1. 自治体会員への『ちょっとアドバイス』

e-AACの自治体会員を定期的に巡回訪問して、自治体が抱えている課題についてアドバイスを行っている。

(1) 令和4年度下期実施状況(10月～3月)

- 自治体会員
天理市、大和高田市、下市町、明日香村
- 訪問回数合計:22回
- テーマ数合計:52件

(2) 主なアドバイス分野(10月～3月)

分野	件数
行政システム関係	27
地域サービス	4
IT技術	13
その他	8
合計	52

2. 自治体 DX の取組

ICTの強い街づくり:誰もが、いつでも、どこでも、デジタルの恩恵を享受できる社会を目指して、地域の課題の解決に取り組む。

(1) 明日香村

「地域情報化支援事業」

行政DXと地域DXに分け、e-AACは、地域DXに取り組むことになった。

担当部門:総務財政課

- 職員向けパソコン教室フォロー会の実施
- 明日香村職員「ICT何でも相談」の実施
 - ・対面相談
 - ・電話相談
- 住民向けアンケート調査の準備
 - ・実施時期は、令和5年度の予定
 - ・調査内容の素案を作成し、調査内容について、庁内8つの原課とミーティングの実施
- 村民向けスマホ講習会
 - ・1回目:2022年7/25, 8/22, 9/26, 10/24

(2) 奈良県より、過疎地域におけるデジタル化支援事業の受託

① 明日香村住民向けスマホ教室

・2回目:2023年1/6, 1/16, 1/23, 2/6

<明日香村での実施風景>



② 御杖村住民向けスマホ教室

2023年1/31, 2/14, 24, 28, 4回)

<御杖村スマホ教室風景>



(3) 天理市

- 行政DX支援・・・ちょっとアドバイス
- 市民DX支援
 - ・パソコン初級講座:8/1, 5, 8, 12, 15, 19 6回
 - ・パソコン中級講座:10/7, 14, 20, 28, 11/4 5回
 - ・スマホ講座:3/6, 9, 13, 17, 20, 27 6回
- 教育DX支援
 - ・サタデースクール・・・子どもものづくり教室
3回:樺本公民館、井戸堂公民館、式上公民館



2023/2/27 天理市長を囲んで
(並河市長:左より2人目)

(4) 大和高田市

- 行政DX支援・・・ちょっとアドバイス
- 市民パソコン教室・・・下期12回
- 市民スマホ教室・・・下期8回
- スマホOB会・・・3回

(5) 下市町

- 行政DX支援・・・ちょっとアドバイス
- 行政システムの業者見積の精査

3. 地域活動

(1) Grafsec

(草の根サイバーセキュリティ全国運動連絡会)

(2) 地域づくり団体全国協議会

(地域活性化活動)

(3) 協賛団体

- 奈良市大宮地区社会福祉協議会
- 奈良市登美ヶ丘北中学校校区地区教育協議会
- 生駒市児童民生協議会

「第2部会」からの報告 学校教育情報化支援

■令和4年度の実績

児童・生徒を対象に、パソコンの講座やインターネット・リテラシーの講演等の活動を行っている。

令和4年度の活動は、コロナの影響でインターネット・リテラシー講座の2講座が変更になったが、他の活動は予定通りに行うことができた。

1. 奈良県青少年社会活動推進課委託事業

県からの要請に基づき学校へ出向き、インターネット・リテラシーの講演を行っている。令和4年度も12件の講座を実施することができた。

1	6/2	大和郡山市立郡山西中学校	2	6/16	奈良工業高等専門学校
3	6/22	奈良県立山辺高等学校	4	7/1	上牧町立上牧第三小学校
5	7/7	東吉野村立東吉野中学校	6	7/13	桜井市立大三輪中学校
7	7/14	生駒市立大瀬中学校	8	7/21	田原本町立田原本小学校
9	9/27	橿原市立真菅小学校	10	10/21	桜井市立城島小学校
11	12/1	奈良市立左京小学校	12	12/19	宇陀市立室生中学校

令和4年度は、高専の学生から小学生までの幅広い年齢を対象とした講座を開講した。約半数がオンラインでの講座であった。教室でオンラインにて講座を受けるほうが、生徒たちは話に集中できるようであった。



オンラインでの講座

2. 草の根サイバー・セキュリティ全国運動基金

草の根・サイバー・セキュリティの支援を得て、学校などからの要請に基づきインターネット・リテラシーの講演を行っている。

1	7/8	奈良市立佐保台小学校	2	7/30	登美ヶ丘公民館
3	10/27	奈良市立大宮小学校			

7/30の登美ヶ丘公民館では、中学生を対象としたプログラミング講座の中でインターネット・リテラシーについて、話を行なった。

10/27の大宮小学校では、保護者を対象として講座を開催した。保護者から、講座は有意義であり子どもにも学ばせたいとの感想を戴いた。

このようにして県の講座と本講座にて児童から学生にわたるインターネット・リテラシーの知見を拡充する取り組みを行っている。



保護者対象の講座

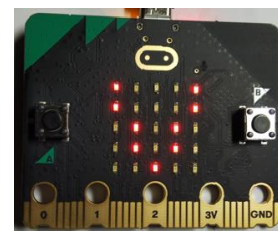
3. 学校支援

学校からの要請に基づき、パソコンクラブの活動支援を行っている。

1	佐保台小学校パソコンクラブ	6/8、7/6、10/5、11/2、2/1、3/1 (全6回)
2	生駒東小学校パソコンクラブ	6/17、7/1、11/11(全3回)

令和4年度より生駒東小学校パソコンクラブの支援を行っている。令和5年度では、さらに支援を強化していく。

支援内容は、両校とも主にScratchを用いたプログラミングを行なっているが、佐保台小学校では、2/1と3/1の2回はボードマイコンのMicrobitを用いて電子ジャンケンのプログラミングを行うという新しい取り組みを行った。



電子ジャンケンのチョコキ

4. 子どもゆめ基金事業

例年公民館等を会場として、地区の小学校児童を対象にプログラミングを中心とした講座を開講している。

令和4年度は、4講座で23回開講することができた。



ロボットカーの走行テスト

また、新たに生駒東小学校にて開講することができた。令和5年度は、さらに講座を充実していきたい。

小学生向け講座

プログラミング体験講座					
1	5/14	奈良市立大宮小学校	2	6/11	奈良市立平城公民館
3	7/9	天理市立樅本公民館	4	7/16	天理市立井戸堂公民館
5	7/23	天理市立式上公民館	6	7/30 (2回)	奈良市立登美ヶ丘公民館
7	9/3	奈良市立大宮小学校	8	9/10	下市観光文化センター
パソコン分解を通じてハード・ソフト・ネットを学ぶ講座					
1	5/28	奈良市立三笠公民館	2	6/25	下市観光文化センター
3	8/13	明日香村立中央公民館	4	9/17	奈良市立平城公民館
ロボットカーの製作とプログラミング講座					
1	10/8	奈良市立三笠公民館	2	10/22	奈良市立平城公民館
3	11/26	奈良市立登美ヶ丘公民館			
プログラミングでロボット制御を学ぶ講座					
1	1/21	奈良市立平城公民館	2	2/4	生駒東小学校
3	2/25	奈良市立三笠公民館	4	3/11	奈良市立登美ヶ丘公民館

「第3部会」からの報告 パソコン研修

受託事業と自主事業の二本立てで推進中です。

コロナウィルの感染者の減少で本年度は中止することなく予定通り実施することができました。

スマホが世の中に浸透していく中で、シニア向けのスマホの使い方支援が非常に重要な課題になってきており、新たに奈良県及び明日香村・天理市からスマホ教室を受託しました。

又なら食と農の魅力創造国際大学から1年生を対象としたPC研修、曾爾村からは移住者・移住希望者を対象にPC研修を新たに受託しました。★は今年度の新規コースです。

■ 受託1 パソコン教室・研修

1. 奈良県市町村職員 PC 研修(各2日間コース)

奈良県の全市町村の職員を対象に、本年度は昨年と比べてエクセル基礎が無くなり3コース少ない5コースを実施しました(コロナの感染者が減少し定員は昨年の20名から従来の30名)。

コース名	コース数	日程	定員
エクセル応用	2	11/7-8、11/10-11	各30名
エクセル応用とマクロ	1	11/14-15	各30名
アクセス基礎	1	11/17-18	各30名
アクセス応用	1	11/21-22	各30名



奈良県市町村職員パソコン研修

2. 奈良市企業局職員 PC 研修(各2日間コース)

奈良市企業局の全職員を対象としたPC研修で、本年度は3年目となります。MOSワード、エクセル応用、エクセルマクロ・VBAを上期と下期に各1講座合計6講座実施しました。

3. なら食と農の魅力創造国際大学 PC 修(NAFIC)★

新たに1年生20名を対象にPC研修(ワード・エクセル)を8回(半日)実施しました。



NAFIC PC 研修

4. 天理市パソコン教室

天理市から委託を受け市民向けPC初級教室を6回コースを上期8月、下期は1月に各1コース実施しました。

5. 曾爾村 PC 研修★

曾爾村から移住者・移住希望者を対象にワード・エクセルの研修(2日間コース)を受託し実施しました。

■ 受託2 スマホ教室

1. 耳成地区公民館スマホ教室

本年度は3年目を迎えスマホ教室(8回コース)を上期と下期各1コース、合計2コース実施しました。

2. 高田スマホ講座

本年度で6年目となり、毎回30名以上を対象に大和高田市市民交流センターで、基礎からSNSまで広い内容を12回実施しました。

3. 高田スマホ講座 OB 会

高田スマホ講座のOBを対象にスマホ活用のレベルの向上とスマホを使った地域活性化活動に役立てることを目標として、6回実施しました。



高田スマホ講座

4. 明日香村スマホ教室★

上期は明日香村から、下期は奈良県から受託し、各4回コースとして実施しました。



御杖村スマホ教室

5. 御杖村スマホ教室★

奈良県から受託し2月に4回コースとして実施しました。

6. 天理スマホ教室★

天理市からの受託事業として中級者を対象に3回コースを2コース実施しました。



天理スマホ教室

■ e-AAC パソコン教室(自主事業)

1. 学園前スマホ教室

昨年度からPC教室代わり、スマホ教室6回コースを上期、下期に各1コース実施しました。



学園前スマホ教室

2. 高田 PC 教室

- 午前: パソコン教室
中級者向けにエクセル、Zoom、Facebook などに加えスクラッチを実施、好評を得ました(上期・下期各12回実施)。
- 午後: 何でも相談(場所を変え中央公民館で実施)

3. 天理中級教室:

昨年度はコロナウィルの影響で中止していましたが、本年度は3コース実施しました(各6、5、5回コース)。



天理中級 PC 教室

■ 令和5年度上期の計画

	内容	PC/ スマホ	回数	予定時期
受託事業	奈良市企業局職員PC研修	PC	未定×2日(終日)	6~7月
	耳成スマホ教室	スマホ	8回(午前)	4~8月
	天理市初級教室	PC	6回(午前)	6月
	高田スマホ講座	スマホ	5回(午後1回/月)	5~9月
	高田サポーター養成講座	スマホ	5回(午後1回/月)	5~9月
	明日香村スマホ教室	スマホ	4回(午後)	未定
	御杖村スマホ教室	スマホ	4回(午後)	未定
	NAFIC PC 研修	PC	8回(午後)	6~7月
自主事業	曾爾村 PC 研修	PC	1~2回(終日)	未定
	学園前スマホ教室	スマホ	6回(午後)	4~6月
	高田中級教室	PC	12回(午前)	4~9月
	天理中級教室	PC	6回(午前)	7~8月

「みんなのページ」 会員のみなさんからの投稿

e-AAC 会員のみなさんが投稿するページです。投稿をお待ちしています。(文字数:600~800 文字程度)

最近想うことー「日本人として“誇り”と“自信”を取り戻そう！」

理事 吉岡正實

最近の日本は、経済力の低下とともに世界での存在感が薄れ、自信喪失・沈滞ムードが漂っている。この遠因の一つは歪んだ学校教育ではないか？自国の歴史で子供達(国民)に「誇り」と「自信」を持たせるのが普通の国、日本は逆に自国を貶め「誇り」と「自信」を無くさせている。対応の一つは、日本は世界に冠たる国であることを認識させることです。



一例を示すと

- ★日本は 2600 年という歴史を持つ現存する世界最古の国。
- ★天皇は、現存する「世界最古」「世界最長」の王家で、世界最高の権威者と世界が認めている(ローマ法王が自ら玄関まで出迎えるのは天皇のみ)。天皇や建国の歴史は、一切教えない
- ★日本文明は、世界8大文明の一つとして、世界の教科書には必ず「日本文明」が入っている。
 - ・アメリカの政治学者「サミュエル・ハンチントン」は、著書「文明の衝突」で、世界を 8 つの文明圏 …「西欧文明」「ラテンアメリカ文明」「アフリカ文明」「中華文明」「ヒンドゥー文明」「東方正教会文明」「イスラム文明」と「日本文明」… に分けている。
 - ・日本文明の特徴は、神話の時代から現代に至るまで、民族が入れ替わることなく、民族の連続性がある世界唯一の国で(他の文明は複数の国にまたがっているが)一国で成立する文明。
 - いまだに「世界4大文明」と教えている
- ★稲作も、既に 3000 年前の水田の跡が九州で発掘されている(佐賀県の菜畑遺跡)
奈良県でも 2400 年前の水田の跡が確認されている(御所市の中西遺跡)
朝鮮半島の稲と日本の稲は遺伝子が異なり、日本の稲は揚子江流域の稲と類似している。
 - それなのに稲作は、2000 年前に朝鮮半島から渡来人とともに伝えられたと教えている
- ★大東亜戦争の意義は、400年間も続いた「白人植民地主義」を打ち破り、東南アジア・中東・アフリカの国々が独立する礎を築いた“歴史的偉業”を達成したことです。
 - ・植民地だった東南アジアから白人国家(英・仏・蘭)を駆逐、将来の独立に向け、義勇軍(インドネシア:祖国防衛隊、ビルマ(現ミャンマー):ビルマ独立義勇軍、インド:インド国民軍)を創設、これら義勇軍が白人国家と戦い、自力で独立を勝ち取ったことに大きく貢献している。
 - ・1955 年インドネシアで「第 1 回アジア・アフリカ会議」が開催され、出席した日本代表は「日本が白人国家と戦ってくれたお陰で独立できた」と大歓迎を受けている。東南アジア・中東・アフリカに“親日国”が多いのは、このためである。
 - このような偉業は、日本のマスメディアでは報道されない
- ★いまだに自虐史観を教え続ける学校やマスメディアの報道に惑わされることなく、歴史の事実を知り、日本人として誇りと自信を持ち、国際社会で堂々と振る舞える人を輩出できるよう、e-AAC としても活動の中で、機会を見つけ、子供たちに日本の素晴らしさを伝えていければいいなと思っています。

「憧れの奈良でシニアライフを楽しむ」

会員 古賀繁博

私は、九州の筑紫平野(朝倉市)に生まれ、筑後川で遊んで育ちました。白村江の戦いに備えて斉明天皇が奈良から移ってきた「朝倉橋の広庭宮」が近くにあり、小学校の遠足で毎年行きました。そこには「猿沢池」があって、案内板に「奈良にもう一つの猿沢池がある」と記載されていました。また社会の教科書で、東大寺の大仏の写真が載っていて、奈良にずっと憧れていました。



社会人になって数年後、東京勤務から大阪に転勤となり、わくわくして奈良に住むことにしました。

初めて見上げる大仏様、興福寺の五重塔を写す猿沢池は、なにか懐かしくて感動しました。大阪勤務の時期は、コンピュータセンター勤務で規模急拡大に伴いセンターも数回移転し、大忙しの毎日でした。

65歳で定年退職した時、奈良に住んで30年余りになるのに奈良地域の事は何も知らない、知人もあまりいない事を実感しました。これからは奈良の地域との繋がりを作ろうと、仕事関係で伝手のあったシルバー人材センターに所属して、薬師寺や大安寺や大淵池周辺の個人宅、高畑町、西大寺、杏町、恋の窪、朱雀、三碓等の個人宅の生け垣の剪定をしました。朝8時頃から数名のチームを組んで、新芽が伸びてボサボサになった生け垣をバサバサと剪定し、昼には奈良の風景を眺めながら弁当を食べて、15時頃には、見違えるようにスッキリした生け垣に変身！とても充実した期間でしたが、肩を痛めて庭師は止めました。

奈良フェニックス大学でコンピュータセンター勤務時代の発表をした時、講師で来ていた西本さんの紹介で、2018 年 1 月に e-AAC に入会しました。e-AAC では、スクラッチプログラミング教室、ロボカー、ロボホン教室等のサポーターをしています。ほかに、歩いて十分足らずの小学校で、放課後の学童保育の補助員を始めました。放課後に学童が一斉に、校舎の空室に開設された「バンビーホーム」にやって来ます。そこで宿題やったり、備え付けの図書本を読んだり、レゴブロック等で色んな形を組立てたり、オセロ、トランプ、将棋等で遊んでいます。15時におやつ、16 時からは運動場でボール蹴り、鬼ごっこ、鉄棒、ジャングルジム等で元気に遊んでいます。年齢が60歳以上離れた学童の笑顔から元気をもらっています。お陰様で健康で、充実したシニアライフを楽しんでいます

「事務局」からの報告

令和4年 e-AAC 十大ニュース投票結果

会員により、メールで投票を行い、次のように決定した。

- ・投票総数: 22名
- ・投票期間: 2023年1月19日～2月1日

<個人の部>

- 1位. 寺村さん (37p)
- 2位. 藤村さん (35p)
- 3位. 辻井さん (34p)
西本さん (34p)
- 5位. 吉川さん (33p)
上提さん (33p)
多田さん (33p)

<個人の順位について>

誰が上位になるか注目されたが、1位は寺村さんになった。「過疎地域デジタル支援事業」を投票したかしなかったかが決め手となった。2位は藤村さんがランクインした。3位は同率で辻井さんと西本さん、5位も同率で吉川さんと上提さんと多田さんになった。同率の場合、ジャンケンで順位を決めた。

<テーマの部>

- 1位. NAFIC(旧農業大学校)講座実施(81.8%)
- 2位. 奈良県の過疎地域デジタル支援事業を受注(明日香村、御杖村)(54.5%)
- 3位. 奈良県ユニセフ協会と業務委託契約で実施(45.5%)
- 4位. 新しい講師のデビュー 駒井さん(NAFIC)、田中伸さん(各スマホ教室(高田、耳成、明日香))(40.9%)
- 5位. 奈良県市町村職員研修:15年(36.4%)
- 6位. 明日香村スマホ講座を実施(31.8%)
- 7位. 曾爾村パソコン教室の受注(27.3%)
子どもゆめ基金の会計監査によりe-AAC活動の正当性が確認された(27.3%)
- 9位. 天理市ちよっとアドバイス:18年(22.7%)
子供向けものづくり教室:9年継続中(22.7%)
新型コロナによりe-AAC活動に影響がでるも最小限でしのぐことができた(22.7%)

<寸評>

1位は圧倒的にNAFICで、22人中18名が投票している。3位以下はどれも1票差で順位が決まったので、票が分散した傾向がある。1位～3位は新しい講座の実施、5位以下は個人の思い入れが強いのが選ばれたと思われる。

機材関係の整備

- | | |
|------------------|---|
| 1、ホーム端末 2台目を導入 | ・・・各教室で毎回インターネット接続が可能となった |
| 2、貸出用 PC6台を補充 | ・・・液晶割れ、電源が入らない、Windows 起動しない等の貸出用故障 PC の代替 |
| 3、レーザーポインターを購入 | ・・・講師の負担軽減 |
| 4、プレゼン用指し棒を購入 | ・・・講師の負担軽減 |
| 5、ワイヤレスヘッドマイクを購入 | ・・・環境改善による講師の負担軽減 |
| 6、拡声器を購入 | ・・・環境改善による講師の負担軽減 |

★編集後記★

新型コロナウイルスの感染が第8波も終わり、感染も少なくなってきた。昨年度も前年度とほぼ同じ規模の活動ができた。高齢化の中で健康に気を配りながら、ポストコロナの取組みを活性化させていきたい。

(e-AAC 編集部)

e-AAC 会員募集

会員皆様からのご紹介・勧誘をお待ちしています。特に、企業・団体・機関の会員を増やしていきたいと思っております。事務局までご連絡ください。

◎ 正会員・個人会員・賛助会員・自治体会員

Tel/Fax: 0742-36-8520

e-mail: e-acc@vesta.ocn.ne.jp

協賛団体



電友会
奈良支部



発行
特定非営利活動法人
電子自治体アドバイザー・クラブ(e-AAC)
編集
e-AAC 編集部
ご連絡先 e-mail: e-acc@vesta.ocn.ne.jp
ホームページ: http://eaac.sakura.ne.jp/